新潟工科大学同窓会 令和4年度「同窓生アンケート」実施結果

1. アンケート実施方法

(1)依 頼 日 : 令和4年6月27日(月) 発信・発送

(2)依頼方法:メール (アドレス登録者)、返信ハガキ (アドレス未登録者)

(3)回答方法: インターネット回答(Google Form)

(4)回答期限:7月29日(金)まで

2. 調査対象

(1)令和元年度(2019)の学部卒業生:100名(9月卒業〔留学生〕、社会人学生を除く)

機械・素材科学	知能機械・情報通信	建築・都市学系	合計
31	27	42	100

(2)平成24年度(2012)の学部卒業生:160名(9月卒業〔留学生〕、社会人学生を除く)

機械制御システム	情報電子	環境科学	建築	合計
46	47	28	39	160

3. 回答数:14名(回答率:5. 4%) ※昨年度は17名(6. 3%)

(1)令和元年度(2019)の学部卒業生:100名(9月卒業〔留学生〕、社会人学生を除く)

機械・素	材科学	知能機械	印能機械・情報通信 建築・都市		都市学系	合	計
回答数	対象数	回答数	対象数	回答数	対象数	回答数	対象数
3	31	3	27	3	42	9	100
回答率	9. 7%	回答率	11. 1%	回答率	7. 1%	回答率	9. 0%

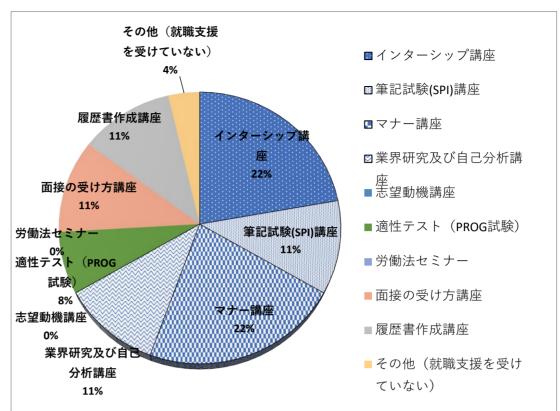
(2)平成23年度(2011)の学部卒業生:12名(9月卒業〔留学生〕、社会人学生を除く)

機械制御	システム	情報	電子	環境	科学	建	築	Í	計
回答数	対象数	回答数	対象数	回答数	対象数	回答数	対象数	回答数	対象数
2	46	2	47	1	28	0	39	5	160
回答率	4. 3%	回答率	4. 3%	回答率	3. 6%	回答率	0.0%	回答率	3. 1%

以下、アンケート質問に対する回答「就職活動への支援内容についての質問」

Q1. 在学中に受けた就職支援対策講座について、「役立った」と思うものを選択してください。 (該当するものを全てチェック)

(該当するものを主てチェック					
項目	回答	答数			
インターシップ講座	6	22.2%			
筆記試験(SPI)講座	3	11.1%			
マナー講座	6	22.2%			
業界研究及び自己分 析講座	З	11.1%			
志望動機講座	0	0.0%			
適性テスト(PROG 試験)	2	7.4%			
労働法セミナー	0	0.0%			
面接の受け方講座	В	11.1%			
履歴書作成講座	З	11.1%			
その他(就職支援を 受けていない)	1	3.7%			
合 計	27	100.0%			



≪Q1の理由・エピソードがあれば、入力してください。≫

【「筆記試験(SPI)講座」「適性テスト(PROG試験)」「面接の受け方講座」に回答】

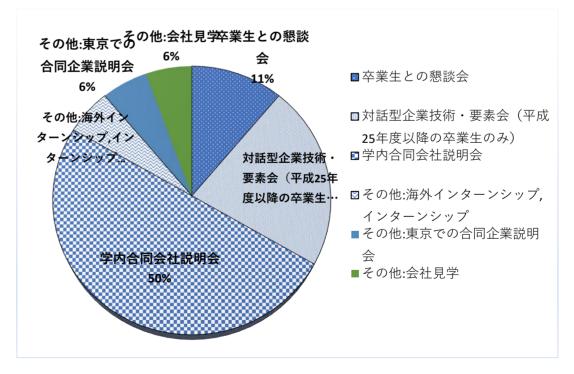
• 模擬面接は良かったです。対人での受け答えは実際の面接での立ち振る舞いを練習できる良い機会でした。

【「インターシップ講座」に回答】

就活に動き出すきっかけになりました。

Q2. 就職活動における「企業を知る機会」として、「役立った」と思うものを選択してください。 (該当するものを全てチェック)

項目	合計		
卒業生との懇談会	2	11.1%	
対話型企業技術・要素会(平成25年度 以降の卒業生のみ)	4	22.2%	
学内合同会社説明 会	9	50.0%	
その他:海外イン ターンシップ,イン ターンシップ	1	5.6%	
その他:東京での合 同企業説明会	1	5.6%	
その他:会社見学	1	5.6%	
合 計	18	100.0%	



≪Q2の理由・エピソードがあれば、入力してください。≫

【「東京での合同企業説明会」に回答】

• 多くの企業を知るきっかけになりました。大きな企業説明会は刺激的でモチベーションアップに繋がりました。

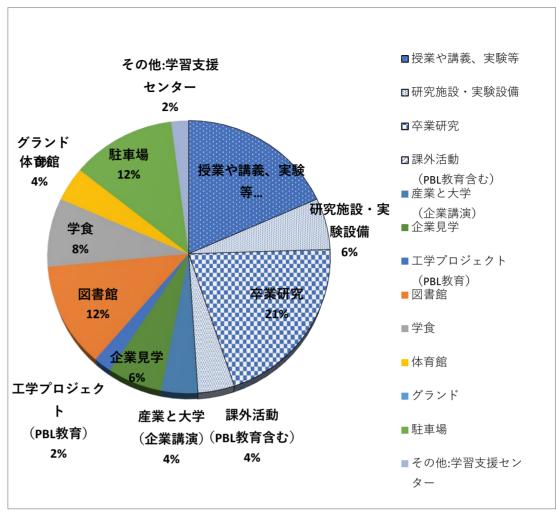
【「対話型企業技術・要素会」に回答】

• 知らない会社を知るいい機会でした。

以下、「在学中の教育・研究・就学環境等についての質問」

Q3. 大学の教育・研究・就学環境等について、「良かった」と思うものを選択してください。 (該当するものを全てチェック)

項目	合計		
授業や講義、実験等	9	18.4%	
研究施設·実験設備	3	6.1%	
卒業研究	10	20.4%	
課外活動 (PBL教育含む)	2	4.1%	
産業と大学 (企業講演)	2	4.1%	
企業見学	3	6.1%	
工学プロジェクト (PBL教育)	1	2.0%	
図書館	6	12.2%	
学食	4	8.2%	
体育館	2	4.1%	
グランド	0	0.0%	
駐車場	6	12.2%	
その他:学習支援センタ	1	2.0%	
合 計	49	100.0%	



≪Q3の理由・エピソードがあれば、入力してください。≫

【「研究施設・実験設備」「卒業研究」「図書館」「体育館」「駐車場」「その他:学習支援センター」に回答】

- 研究室は非常に良かったです。わたしの人生の礎になっています。
- ・体育館のトレーニングルームは好きな時に使え、体力作りに良かったです。・図書館は静かで、落ち着いた環境で知識を蓄えることができました。もう少し蔵書が増えると良いですね。
- 学習支援センターはもう無いのでしょうか。
- 数学や英語の苦手分野を復習でき補うことができました。

【「授業や講義、実験等」に回答】

実験はいい経験になりました。

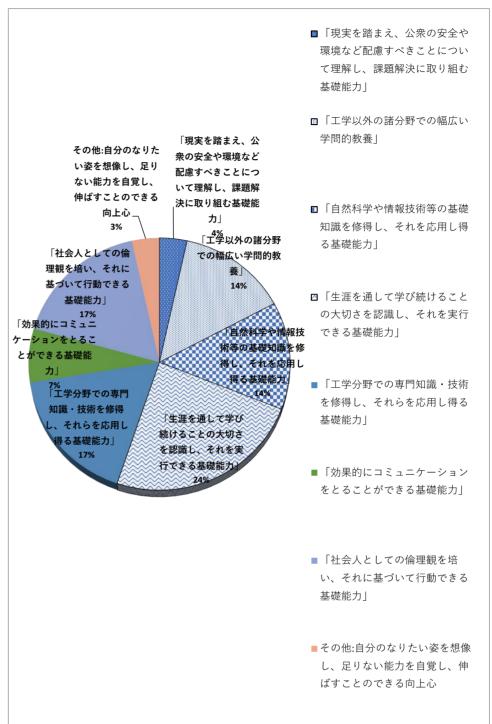
【「授業や講義、実験等」「卒業研究」「図書館」「学食」「駐車場」に回答】

- 研究活動は学校外の方と関わる機会が多かったので、社会に出る前にさまざまな人と話せてコミュニケーション能力を 成長させるいい機会だったと今では感じています。 ・研究の成果は別として、人間的な成長や経験値になったと思っています。

以下、「本学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)の習得状況についての質問」

Q4. 本学のディプロマ・ポリシーである下記の7つの能力について、「在学中に身に付いたと思う能力」を 選択してください。(該当するものを全てチェック)

項目	合	計
「現実を踏まえ、公衆の安全や環 境など配慮すべきことについて 理解し、課題解決に取り組む基礎 能力」	1	3.4%
「工学以外の諸分野での幅広い学問的教養」	4	13.8%
「自然科学や情報技術等の基礎知 識を修得し、それを応用し得る基 礎能力」	4	13.8%
「生涯を通して学び続けることの 大切さを認識し、それを実行でき る基礎能力」	7	24.1%
「工学分野での専門知識・技術を修得し、それらを応用し得る基礎能力」	5	17.2%
「効果的にコミュニケーションをとることができる基礎能力」	2	6.9%
「社会人としての倫理観を培い、 それに基づいて行動できる基礎 能力」	5	17.2%
その他:自分のなりたい姿を想像 し、足りない能力を自覚し、伸ば すことのできる向上心	1	3.4%
合 計	29	100.0%

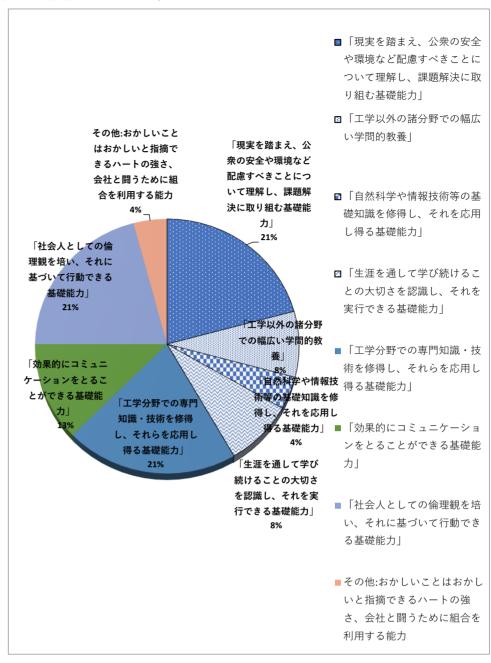


≪Q4の7つの能力について、学生時代のどのような経験が基に身に付いたと思いますか。≫

- ・実験や講義での課題
- 海外研修、インターンシップ、研究、学会発表
- ・専門知識の基礎
- 研究活動
- 就職活動をしていく中で、自身はどのように行動すべきかを考えるという経験

Q5. 本学のディプロマ・ポリシーである下記の7つの能力について、「社会人になってから特に身に付いたと思う能力」を選択してください。(該当するものを全てチェック)

項目	合	計
「現実を踏まえ、公衆の安全や環境など配慮すべきことについて 理解し、課題解決に取り組む基礎 能力」	5	20.8%
「工学以外の諸分野での幅広い学 問的教養」	2	8.3%
「自然科学や情報技術等の基礎知識を修得し、それを応用し得る基礎能力」	1	4.2%
「生涯を通して学び続けることの 大切さを認識し、それを実行でき る基礎能力」	2	8.3%
「工学分野での専門知識・技術を 修得し、それらを応用し得る基礎 能力」	5	20.8%
「効果的にコミュニケーションをと ることができる基礎能力」	Э	12.5%
「社会人としての倫理観を培い、 それに基づいて行動できる基礎 能力」	5	20.8%
その他:おかしいことはおかしい と指摘できるハートの強さ、会社 と闘うために組合を利用する能 力	1	4.2%
合 計	24	100.0%



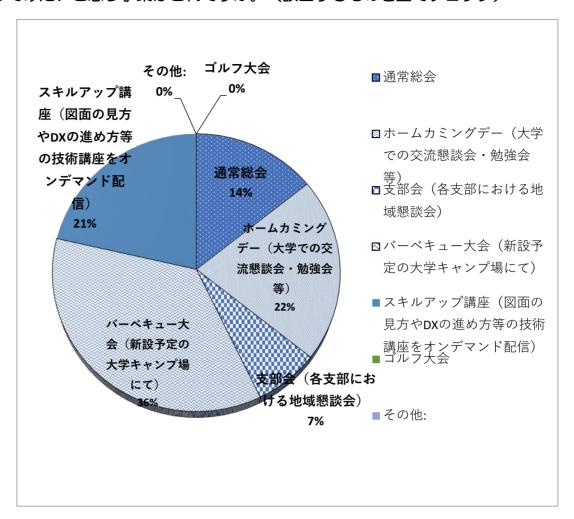
≪Q5の7つの能力について、社会人になってからのどのような経験が基に身に付いたと思いますか。≫

- パワハラ上司との闘い
- ・専門知識の本質
- 研究活動
- ・農学という工学ではない分野の職に転職した経験

以下、「同窓会事業についての質問」

Q6. 下記の同窓会事業の中から参加してみたいと思う事業はどれですか。(該当するものを全てチェック)

項目	合計		
通常総会	2	14.3%	
ホームカミングデー (大学での交流懇談 会・勉強会等)	3	21.4%	
支部会(各支部における地域懇談会)	1	7.1%	
バーベキュー大会 (新設予定の大学 キャンプ場にて)	5	35.7%	
スキルアップ講座 (図面の見方やDX の進め方等の技術 講座をオンデマンド 配信)	3	21.4%	
ゴルフ大会	0	0.0%	
その他:	0	0.0%	
合 計	14	100.0%	



Q7. 同窓会で新たに実施してほしいと思う事業があればお聞かせください。

• 研究室単位での懇親会

以上